

介護予防まつり in まえばし

「介護予防サポーター活動発表会」を行いました。

群馬県地域リハビリテーション支援センター 事務局長 浅川康吉

2月1日(日)に、前橋プラザ元気21にある前橋市中央公民館と群馬社会福祉大学附属医療福祉専門学校を会場に「介護予防まつり in まえばし」が前橋市、前橋地域リハ広域支援センター、群馬県地域リハ支援センターの主催で開催された。このイベントは、三者の密な連携のもとで企画・運営された。当日は、前橋市民はもとより県内各地から400名を超える来場者があり大きな盛り上がりを見せるとともに、その様子がNHKの地域ニュースでも取り上げられるなどして多方面で話題となった。

イベント内容は、「ピンシャン元気コンテスト」や「トークショー元気100歳に聞きました」などのステージプログラムもあり、体力測定、鍼灸治療、栄養バランスのよい食事の試食といった体験系プログラムもあり、パソコン教室に、信木俊輔氏の絵画展示もと、多種多彩であった。

プログラムのひとつ「介護予防サポーター活動発表会」は、県地域リハ支援センターの企画で行われたが、ここでは11市町16団体がパネルを展示した。訪れたサポーターからは

「自分たちの活動を紹介することも励みになるし、他のサポーターのことを知ることも勉強になる」といった声も聞かれた。また、訪れた人のなかにはパネルのカラフルさに惹かれて「何だろうと思って立ち寄った」という人も多くいた。「介護予防サポーター活動発表会」は圏域を超えた介護予防サポーターの交流を促すイベントというだけでなく、サポーター活動を広く社会に知ってもらうきっかけとしても大切なイベントとなった。

「介護予防まつり in まえばし」を通じて、県支援センター事務局は、行政・広域支援センターとの三者連携を経験することができたし、介護予防サポーター活動発表のノウハウを得ることもできた。介護予防サポーター活動を一層活発にするためにこの経験を今後活かしていきたい。

